

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-504175(P2007-504175A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-525021(P2006-525021)

【国際特許分類】

A 0 1 N	25/18	(2006.01)
B 6 5 D	83/00	(2006.01)
A 0 1 M	1/20	(2006.01)
A 0 1 N	25/34	(2006.01)
A 0 1 P	7/04	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	25/18	1 0 2 A
B 6 5 D	83/00	F
A 0 1 M	1/20	C
A 0 1 N	25/34	A
A 0 1 N	25/34	Z
A 0 1 P	7/04	
A 0 1 N	25/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月13日(2007.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

揮発液体をリザーバから大気中に散布するように適合された装置であって、散布は、液体と接触している伝達部材と、該伝達部材と液体伝達接触している毛細管部材とによって達成され、該毛細管部材は、主毛細管チャネルを保持する気化表面を備え、これらの主毛細管チャネルの少なくともいくつかは、少なくとも1つの副毛細管チャネルと交差しており、副毛細管チャネルの横断面積は、前記主チャネルのそれよりも実質的に小さく、それによって液体が前記主チャネルと前記副チャネルの両方に流れるようにされている、前記装置。

【請求項2】

伝達部材が実質的に円柱状または円筒状の多孔質芯であって、気化表面が該芯から実質的に直角に延びるシートであり、該シートが少なくとも1つの表面上に毛細管チャネルを保持している、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

揮発性液体を、気化表面から気化によって大気中に散布する方法であって、  
リザーバから伝達手段によって、それと液体伝達接触している気化表面に液体を移送することを含み、この気化表面は主毛細管チャネルを含み、これらの主毛細管チャネルの少なくともいくつかに、少なくとも1つの副毛細管チャネルが交差しており、この副毛細管チャネルの横断面積は、主チャネルのそれよりも実質的に小さく、それによって液体が主

チャネルおよび副チャネルの両方に流れるようする、前記方法。